

第21回

5月14日(日)常盤台地区

いたばしウォークラリー大会



わくわくドキドキ、行ってらっしゃい！！

前日、一日中降り続いた雨も上がり、第21回いたばしウォークラリー大会が行われました。今大会は常盤台小学校をスタート地点とする約6kmのコースを、90組290名が参加しました。

午前9時より開会式が行われ、「ふるさといたばし体操」で体をほぐした後、参加者はそれぞれ用意された4コースに分かれ、1分おきにスタートして行きました。

コースの途中にはゲームポイントや観察ゾーン、チェックポイントがあり、すべてのイベントをクリアする必要があります。ゲームポイントの弥生小学校では、「ニュースポーツの「ラダーゲッター」と「ペトボトルクップ」にチ

ヤレンジしました。それぞれルールはシンプルでありながらゲーム性が高く、参加者は老若男女問わず楽しんでいました。

ウォークラリーは歩く楽しさをもとに、町の文化や自然を発見できる野外プログラムです。速さは競わないので、じっくりと探索を楽しめます。健康志向やアウトドア志向の高まりにともない、健康的なコミュニケーションイベントとして全国に広がっています。

今年参加できなかった皆さんも、来年はぜひチャレンジしてみてください。



優勝チームの皆さん（中央3名）



長さ当てで得点をゲット！

新任委員のウォークラリー観戦メモ

天候は曇りでしたが気温はそれほど高くなく、ウォークラリーとしてはちょうどよい気候だったと思います。

ウォークラリーのゼッケンをつけているだけで、参加者同士がすれ違うたびに挨拶をする光景は、見ていてほのぼのとした気持ちになりました。また木と木の間の距離を予測する長さ当てでは、手をつないだり、お子さんを横に抱えて計測するなど、ふれあいとアイデアを感じることができました。

恩田